

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010100		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	数量調整円滑化推進事業		予算事業名	数量調整円滑化推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	坂本 隼人
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生産者団体及び行政が一体となって行う生産調整推進活動を通じて水田営農の効率化を実現するとともに地域農業の産地を形成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		米の生産数量(作付面積)を調整し、転作作物を作付けすることにより地域農業の産地を形成する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	水稲作付面積	ha	221	220	221	203	
	転作実施面積	ha	232	202	202	220	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.748	0.828	111	0.783	95	0.736	94	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	6,067,206	6,773,877	112	6,203,660	92	6,099,934	98	
	事業費	228,587	206,247	90	174,000	84	185,000	106	
	合計	6,295,793	6,980,124	111	6,377,660	91	6,284,934	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	165,000	134,000	81		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,130,793	6,846,124	112	6,377,660	93	6,284,934	99	
合計	6,295,793	6,980,124	111	6,377,660	91	6,284,934	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水稲作付面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	222	216	97.3	216	100.0	203	94.0	
	実績	221	220	99.5	221	100.5			
指標名2		転作実施面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	230	218	94.8	230	105.5	220	95.7	
	実績	232	202	87.1	202	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

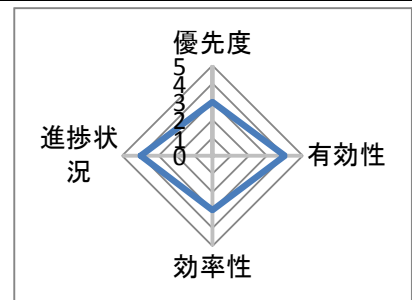
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	国から配分される米生産目標数値は前年度と同じで、目標数値を達成した。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	米の価格を維持するため国において農業者に作付け規制を行った。相生市の農業振興としては多品目を選定する必要がある。	
効率性	コストの節減	国における減反政策であるので節減には限界があった。	3
	執行体制の効率性	営農知識のあるJA等、関係機関と連携し効率的に行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	営農知識のあるJA等、関係機関と連携し効率的に行っていく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	営農知識のあるJA等、関係機関と連携し効率的に行っていく。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040201010200		事業の種類		5	
年度	27	事務事業名	夢ある農村づくり推進事業	予算事業名	夢ある農村づくり推進事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	宇野 智子
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		夢ある農村づくり推進事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家・集落					
	誰(何)を対象として	農家・集落					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市独自の水田農業を確立するため、特産品のPR経費等に対して助成を行う。また、集落の農地は集落が守るを原則として集落営農組織育成のための活動に助成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市独自の水田農業を確立するため、特産品及び農産物直売所のPR経費等及び集落営農組織の共同活動に対して補助を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	産地づくり補助	団体	9	9	6	9	
	集落活性化補助	集落	2	2	2	2	
	イベント補助	集落	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.340	0.740	218	0.624	84	0.620	99	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,930,910	6,092,053	208	5,014,022	82	5,188,406	103	
	事業費	11,573,182	1,553,366	13	2,680,544	173	2,900,000	108	
	合計	14,504,092	7,645,419	53	7,694,566	101	8,088,406	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,504,092	7,645,419	53	7,694,566	101	8,088,406	105	
合計	14,504,092	7,645,419	53	7,694,566	101	8,088,406	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		産地づくり補助							
指標説明(式)		取り組み団体の促進							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
団体	目標	9	9	100.0	9	100.0	9	100.0	
	実績	9	9	100.0	6	66.7			
指標名2		集落活性化補助							
指標説明(式)		取り組み集落の促進							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
集落	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

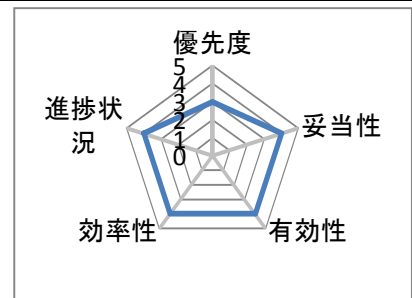
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	福井営農組合が法人化したほか、西播磨フードセレクションで「ゆずみそ」がグランプリを取得し、特産品の生産拡大による6次産業化の推進機運が高まった。	4
	市民サービス	集落活動や直売所、加工所への助成をすることによって、地域の活性化を促し市民へのサービス向上につながった。	
効率性	負担割合の適正化	集落活動や直売所、加工所の団体に対しては、法人化や地域間交流等を計画的に取り組んでいる集落や、担い手育成等に取り組んでいる団体に対して助成するほか、限度額を設けて助成することで、負担割合の適正化を図った。	4
	手段の最適性	各団体の発展を促すには必要な施策であった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	活動団体が小規模なため、広域で連携を行うなど、幅広い活動ができるよう促す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	6次産業化の促進や特産品創出拡大に向けた取り組みを行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010400	事業の種類	1
年度	27	事務事業名	農業金融制度利子補給事業	予算事業名	農業金融制度利子補給事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る	担当課長	竹本 頼高	担当者名 宇野 智子
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家(認定農業者)			
	誰(何)を対象として	農家(認定農業者)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	意欲ある農業者の安定経営を図ることを目的とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		融資機関が農業者に貸し付けた資金について利子補給を行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	農業近代化資金	件	0	0	0	1
	農業経営基盤強化資金	件	1	2	2	3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.044	0.060	136	0.060	100	0.060	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	655,558	823,413	126	794,174	96	787,926	99	
	事業費	5,992	9,347	156	13,582	145	69,000	508	
	合計	661,550	832,760	126	807,756	97	856,926	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	661,550	832,760	126	807,756	97	856,926	106	
	合計	661,550	832,760	126	807,756	97	856,926	106	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家の利用件数							
指標説明(式)		借入件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	4	133.3	4	100.0	
	実績	1	2	200.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業施設の整備に伴う借入を行う農家が少なかった。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	活用した農業者においては、運転資金として効果があった。	
効率性	手段の最適性	効率的な農業経営を図るためには必要なことであった。	4
	執行体制の効率性	県の随伴助成もあり簡素化はできた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用者は少ないものの概ね計画通り進捗した。	4

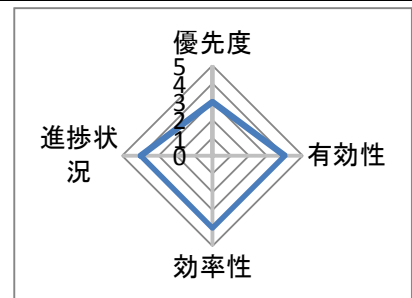
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	認定農業者が少なく、農業施設の整備の頻度が低いため利用者が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	農家の経営規模の拡大を促し、設備投資しやすい対策を推進する。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010500		事業の種類	2		
年度	27	事務事業名	上松農業共同作業所管理事業		予算事業名	上松農業共同作業所管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	宇野 智子	
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	農家						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	乾燥調整量	袋	774	904	920	1000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.024	0.020	83	0.036	180	0.020	56	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	501,818	513,493	102	614,606	120	473,606	77	
	事業費	2,540,500	78,600	3	46,800	60	300,000	641	
	合計	3,042,318	592,093	19	661,406	112	773,606	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,042,318	592,093	19	661,406	112	773,606	117	
合計	3,042,318	592,093	19	661,406	112	773,606	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		乾燥調整量							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
袋	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	774	904	116.8	920	101.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

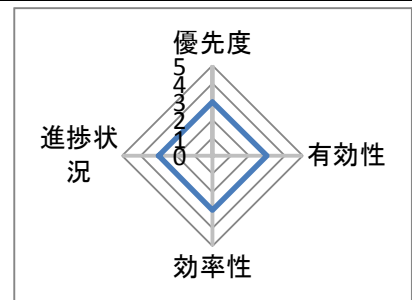
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供するため、ブロックローテーションの加減で、安定的な利用が出来ていなかった。	3
	組織運営・適正管理	現状の施設規模の範囲内で、最大限の作業を行った。	
効率性	コストの節減	多くの利用を促すことで大きくコスト縮減ができるようになるが、施設の大きさによりもみ殻の保管ができないため利用に限度があった。	3
	執行体制の効率性	指定管理者制度により効率的に運営できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010600	事業の種類	6
年度	27	事務事業名	土地改良事業(市単独分)	予算事業名	土地改良事業(市単独分) 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		担当者名	長治 宏幸
実施計画事業名		その他農林水産(市単土地改良事業)		実施計画への記載	有
		若狭野町福井地区暗渠排水整備事業		主要事業の指定	無
		ため池(双子池)整備事業			
		多面的機能交付金事業			
		ため池整備事業(点検)			
		ため池整備事業(調査設計)			
根拠法規及び関連法規		相生市土地改良事業分担金徴収条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	農地受益者			
	誰(何)を対象として	農業用施設			
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業用施設の維持、修繕、改修をする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業用施設の維持、修繕、改修をする。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	市単独土地改良工事	地区	15	14	13	15

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.412	0.420	102	1.082	258	0.820	76	
	臨時職員			-	0.080	-	0.080	100	
支出内訳	人件費	3,484,374	3,612,693	104	8,642,298	239	6,976,486	81	
	事業費	33,046,689	14,259,868	43	43,796,605	307	39,019,000	89	
	合計	36,531,063	17,872,561	49	52,438,903	293	45,995,486	88	
財源内訳	国庫支出金			-		-	8,100,000	-	
	県支出金		5,485,320	-	24,626,652	449	16,728,000	68	
	市債			-		-		-	
	その他	1,866,984	2,185,020	117	4,257,330	195	2,952,000	69	
	一般財源	34,664,079	10,202,221	29	23,554,921	231	18,215,486	77	
合計	36,531,063	17,872,561	49	52,438,903	293	45,995,486	88		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施率							
指標説明(式)		工事実施件数÷工事計画件数×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		年度内予算執行額							
指標説明(式)		年度内予算執行額÷年度内予算額×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	94.3	88.0	93.3	97.6	110.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	農業用施設の機能回復する。	3
効率性	コストの節減	見積合せ及び一般競争入札により削減が図られている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

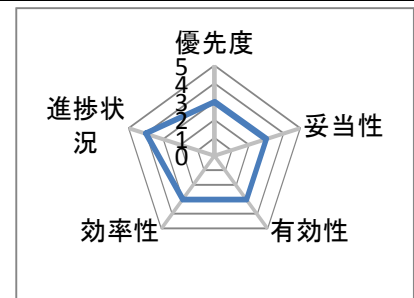
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	老朽化している農業用施設が増えてきている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	緊急性や優先性を考慮し、検討を行う。



配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010700		事業の種類	7		
年度	27	事務事業名	土地改良事業(県施工分)		予算事業名	土地改良事業(県施工分) 優先度		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高		担当者名	長治 宏幸
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名		ため池(那波野岩屋谷池)整備事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農地受益者						
	誰(何)を対象として	農業用施設改修による負担金						
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業用施設の改修を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		県施行事業					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	県施行事業	事業	1	1	0	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.612	0.620	101	0.200	32	0.128	64	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	5,021,774	5,162,293	103	1,841,654	36	1,322,270	72	
	事業費	6,899,031	7,371,281	107	89,300	1	88,000	99	
	合計	11,920,805	12,533,574	105	1,930,954	15	1,410,270	73	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	566,800	67,000	12		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他	199,920		0		-		-	
	一般財源	11,154,085	12,466,574	112	1,930,954	15	1,410,270	73	
合計	11,920,805	12,533,574	105	1,930,954	15	1,410,270	73		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施件数							
指標説明(式)		工事の実施件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	1	1	100.0	0	0.0	0	-	
	実績	1	1	100.0	0	0.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業の完了により取水能力が良くなる。	3
効率性	負担割合の適正化	補助事業のため見直しはしない。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画が完了している。	5

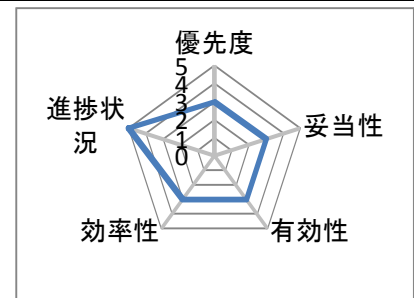
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	平成27年度より県施工事業の計画がない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	災害等からの市民の安全を確保するため、補助事業で実施すべき箇所の選定及び要望を行う。



配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010800	事業の種類	0
年度	27	事務事業名	農業委員会事務	予算事業名	農業委員会費事務経費
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	農業委員会農業委員会	
施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名
取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	農地法、農業委員会等に関する法律				
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業及び農地にかかわる市民			
	誰(何)を対象として	農業及び農地にかかわる市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	上記の者が申請等をする農地の権利移動等の許可等により当事者間の利益を図る			

2 事業の概要 Do

実施の概要	1. 農地の売買・貸し借りその権利移動等、農地法に定められた規定に基づく事務 2. 農業者年金受給・加入関係書類の受理等の農業者年金基金法に基づく事務 3. 農業委員会委員選挙人名簿登録申請書に基づく事務					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	農地法関係事務	件	102	102	181	100
	農業経営基盤強化促進法関係事務	件	197	228	264	230
	農業者年金関係事務	件	13	11	11	15
	農業委員会等に関する法律関係事務	件	616	593	-	-

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.672	0.656	98	0.648	99	0.648	100	
	臨時職員	1.000	1.000	100	1.000	100	1.000	100	
支出内訳	人件費	7,923,994	7,871,221	99	7,712,590	98	8,114,430	105	
	事業費	6,775,297	11,232,818	166	7,870,381	70	7,360,000	94	
	合計	14,699,291	19,104,039	130	15,582,971	82	15,474,430	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,804,000		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	149,500		0		-		-	
	一般財源	12,745,791	19,104,039	150	15,582,971	82	15,474,430	99	
	合計	14,699,291	19,104,039	130	15,582,971	82	15,474,430	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	農地基本台帳登録農家戸数								
指標説明(式)	毎年1月1日現在、農地基本台帳に登録されている農家戸数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	644	620	96.3	620	100.0		0.0	
	実績	616	593	96.3		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	法令に基づき転用等の案件について執行を行った。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	法律に基づく適正な事務の執行を行った。	
効率性	コストの節減	耕作放棄地対策など、法改正により業務が増えており、事務の効率化を図りコスト節減に努めた。	4
	執行体制の効率性	機構改革により農林水産担当と兼務となっているが、業務が重なるとどちらの業務にも支障をきたす恐れがある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	農家農業者等の利益代表者機関として機能を果たした	5

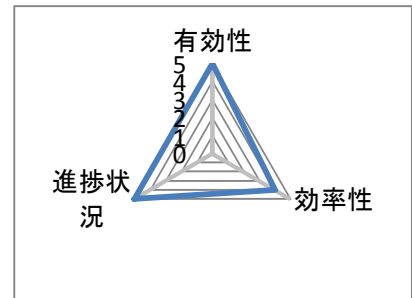
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	業務が複雑化する中で、兼務体制による支障をきたす恐れがある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	各種事務事業の見直しを検討し、効率的な執行体制を確立する。



配点	32.5
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011000	事業の種類	3
年度	27	事務事業名	農業総務費事務経費	予算事業名	農業総務費事務経費 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		担当者名	坂本 隼人
実施計画事業名		農水産ビジョン作成事業		実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家			
	誰(何)を対象として	農会長ほか、各種団体との連携強化			
	意図(どのような状態にしたいのか)	適切な農業行政の推進			

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業行政推進のための基礎的な業務				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	農家戸数	戸	964	961	947	950

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.112	0.212	189	0.192	91	0.192	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,178,274	2,001,109	170	1,781,798	89	1,825,182	102	
	事業費	5,766,000	8,047,720	140	5,795,340	72	5,863,000	101	
	合計	6,944,274	10,048,829	145	7,577,138	75	7,688,182	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,944,274	10,048,829	145	7,577,138	75	7,688,182	101	
合計	6,944,274	10,048,829	145	7,577,138	75	7,688,182	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家戸数							
指標説明(式)		農家戸数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	970	965	99.5	965	100.0	950	98.4	
	実績	964	961	99.7	947	98.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業行政情報を各農会への適時提供できるよう図った。	4
	組織運営・適正管理	スムーズな農業行政が図れるよう各種団体と連絡を密にし、業務に当たった。	
効率性	コストの節減	市と農会長とで連携しながら集落の農地の管理をしており、年々業務が増える中、コスト増にならないよう行った。	4
	執行体制の効率性	関係機関との協議会に加入し、連携強化を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

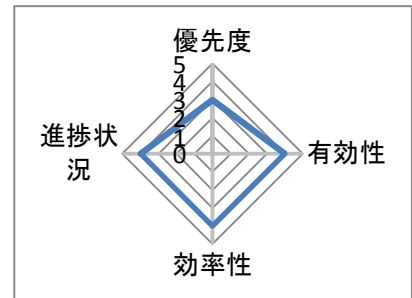
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	農会長への負担が増える中、コスト増にならないようにしていく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係機関との連携体制を強化していく。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011200		事業の種類	1		
年度	27	事務事業名	農業振興等奨励事業		予算事業名	農業振興等奨励事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	坂本 隼人	
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		新規就農者確保事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	経営所得の安定化や担い手の育成						
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業の振興と不耕作地の解消を図る						

2 事業の概要 Do

実施の概要		経営所得安定対策の推進等のための事務費 認定新規就農者の拡大					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	経営所得安定対策加入者	戸	490	495	446	500	
	認定新規就農者	人			3	3	
	集落営農の法人化				1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.274	0.192	70	0.152	79	0.172	113	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,423,568	1,846,149	76	1,482,518	80	1,668,022	113	
	事業費	1,865,000	1,865,000	100	12,504,200	670	7,865,000	63	
	合計	4,288,568	3,711,149	87	13,986,718	377	9,533,022	68	
財源内訳	国庫支出金	1,865,000	1,865,000	100		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,423,568	1,846,149	76	13,986,718	758	9,533,022	68	
合計	4,288,568	3,711,149	87	13,986,718	377	9,533,022	68		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		経営所得安定対策加入者							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	550	500	90.9	500	100.0	500	100.0	
	実績	490	495	101.0	446	90.1			
指標名2		認定新規就農者							
指標説明(式)		市の基本構想に沿って新たに農業経営を開始する45歳未満の青年等							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	3	-	3	100.0	
	実績			-	3	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

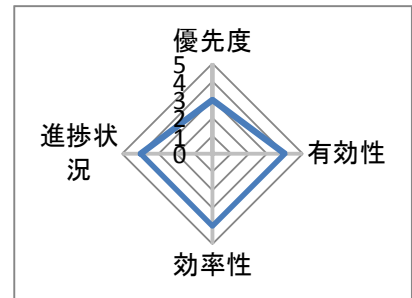
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	<ul style="list-style-type: none"> 農業経営を安定するため作付けに応じた交付を行えた。 集落営農の法人化及び認定新規就農者の増加により、農業の担い手が育成された。 	4
	関係(根拠)法令から見た効果	自給率向上のため作付けに応じた交付を行えた。	
効率性	手段の最適性	農業経営を安定させるため経営所得安定対策を法令等に基づき運用を行った。	4
	執行体制の効率性	<ul style="list-style-type: none"> 経営所得安定対策を円滑に運営するためJA、農業委員会、県と連携を行った。 県やJAと連携しながら、担い手の育成を図った。 	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	経営所得安定対策を円滑に運営するため、JA、農業委員会、県と更なる連携が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	経営所得安定対策を円滑に運営するため、JA、農業委員会、県と更なる連携を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011300		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	中山間地域等直接支払事業		予算事業名	中山間地域等直接支払事業 優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	宇野 智子
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		中山間地域直接支払事業補助要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業生産条件の不利な棚田の保全のため、補助を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国・県の補助金を利用し、補助事業を実施することにより、地域農業の振興を図る					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	事業実施集落	地区	7	7	6	6	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.432	0.184	43	0.244	133	0.204	84	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,638,114	1,784,165	49	2,170,862	122	1,919,478	88	
	事業費	3,416,284	3,419,082	100	2,940,088	86	2,969,000	101	
	合計	7,054,398	5,203,247	74	5,110,950	98	4,888,478	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		2,418,129	-		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,054,398	2,785,118	39	5,110,950	184	4,888,478	96	
合計	7,054,398	5,203,247	74	5,110,950	98	4,888,478	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		集落協定数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
集落協定	目標	7	7	100.0	7	100.0	6	85.7	
	実績	7	7	100.0	6	85.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

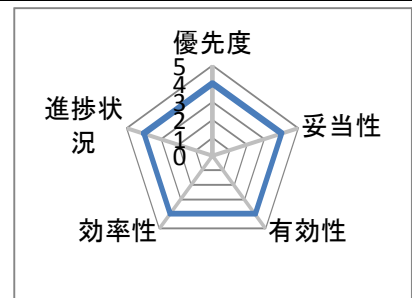
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集落協定参加者で共同取り組みを行うことで、一定の成果が得られた。	4
	市民サービス	山際の農地を管理することで集落内の環境保全が守られた。	
効率性	負担割合の適正化	各地域において中山間地域直接支払事業対象農地のうち必要最低限の農地について国の制度を活用している。	4
	手段の最適性	集落の農地を守るため集落で協定を結び保全活動を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	高齢化、人出不足により、農地を管理することが負担になっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	補助金を有効に活用し、活動の継続を促す。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020100	事業の種類	3
年度	27	事務事業名	水産業振興費事務経費	予算事業名	水産業振興費事務経費 優先度 2
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		担当者名	宇野 智子
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者			
	誰(何)を対象として	漁業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	漁業者数	人	50	51	55	55

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.036	0.024	67	0.032	133	0.028	88	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	594,062	544,485	92	584,678	107	536,470	92	
	事業費	120,000	168,000	140	148,000	88	139,000	94	
	合計	714,062	712,485	100	732,678	103	675,470	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	714,062	712,485	100	732,678	103	675,470	92	
合計	714,062	712,485	100	732,678	103	675,470	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		漁業経営体数							
指標説明(式)		漁業経営体数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
経営体	目標	25	24	96.0	25	104.2	25	100.0	
	実績	24	25	104.2	23	92.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者が安心して生活できるよう漁業近代化資金借入ができるよう漁業信用基金協会に出資し適正な漁業行政を展開することで漁業者数を維持した。	4
	組織運営・適正管理	相生漁協と連携し、漁業行政を推進することができた。	
効率性	コストの節減	漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開することで漁業者数を維持した。	3
	執行体制の効率性	相生漁協と連携し、漁業行政を推進することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

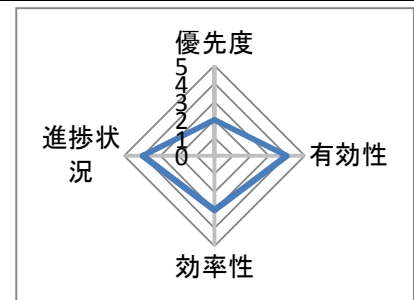
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	市からの出資の有無の検討が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	出資金の廃止



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020200		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	水産業振興事業		予算事業名	水産業振興事業	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	坂本 隼人
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者の安定経営を目的とする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生カキのノロウイルス等の検査をすることによって安心・安全をPRすることで販売促進を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	検査	回	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.044	0.024	55	0.032	133	0.028	88	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	655,558	544,485	83	584,678	107	536,470	92	
	事業費	5,800,000	9,600,000	166	500,000	5	500,000	100	
	合計	6,455,558	10,144,485	157	1,084,678	11	1,036,470	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,455,558	10,144,485	157	1,084,678	11	1,036,470	96	
合計	6,455,558	10,144,485	157	1,084,678	11	1,036,470	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ノロウイルス等検査							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

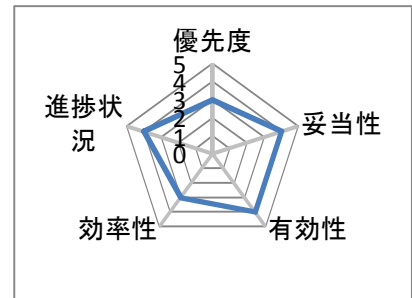
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	観光協会と連携してかきマップを作成し、PRに努め、成果は上がっている。	4
	市民サービス	相生カキを安心して購入できるよう行った。	
効率性	コストの節減	販売金額が増えることによって市の負担は減額する方向で検討する必要がある。	3
	手段の最適性	生産は上がってきているので自助努力を促す必要がある	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	相生カキのブランド化は進んでおり、市の負担の減額が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生カキの普及は進んでいるため、相生漁協と更なる発展のため、連携を図る。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020300		事業の種類	3	
年度	27	事務事業名	漁船保険補助事業		予算事業名	漁船保険補助事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	坂本 隼人
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		漁船災害等補償法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁船につき不慮の事故による損害の復旧を容易にすることで、漁業経営の安定経営を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁船保険に対する補助を行う					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	漁船保険加入者	隻	90	95	91	102	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.044	0.024	55	0.016	67	0.028	175	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	655,558	544,485	83	464,966	85	536,470	115	
	事業費	1,849,982	1,922,571	104	1,865,641	97	2,048,000	110	
	合計	2,505,540	2,467,056	98	2,330,607	94	2,584,470	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,505,540	2,467,056	98	2,330,607	94	2,584,470	111	
	合計	2,505,540	2,467,056	98	2,330,607	94	2,584,470	111	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一隻当たりの保険料額							
指標説明(式)		保険料額/隻							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	20555	20237	98.5	20502	101.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の安定経営を図っており成果としては概ね達成した。	4
	組織運営・適正管理	相生漁協が取りまとめ加入しているため適正に管理された。	
効率性	コストの節減	漁業者の安定経営を図るため必要であるため節減はできなかった。	4
	執行体制の効率性	漁業者の安定経営を図るため相生漁協と連携して取り組んだ。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

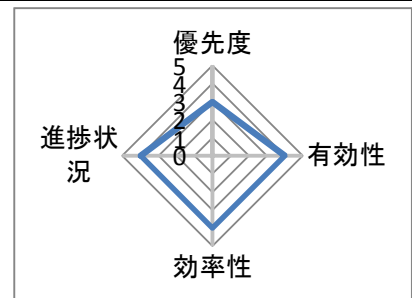
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	漁業者の事故が後を絶たないことから、利用の促進を図る必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	相生漁業と連携を図り、利用の促進を図る。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020400	事業の種類	3
年度	27	事務事業名	漁業近代化資金利子補給事業	予算事業名	漁業近代化資金利子補給事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		担当者名	坂本 隼人
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		漁業近代化資金融通法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者			
	誰(何)を対象として	漁業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	低金利の同制度を活用することで、漁業者の資本装備の高度化及び経営の近代化を促進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁業者が借り入れた資金に対して利子補給を行う				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	利子補給件数	人	6	7	12	12

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.044	0.024	55	0.016	67	0.028	175	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	655,558	544,485	83	464,966	85	536,470	115	
	事業費	345,169	720,529	209	1,094,020	152	1,202,000	110	
	合計	1,000,727	1,265,014	126	1,558,986	123	1,738,470	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,000,727	1,265,014	126	1,558,986	123	1,738,470	112	
合計	1,000,727	1,265,014	126	1,558,986	123	1,738,470	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給利用率							
指標説明(式)		利子補給利用者/漁業者(55名)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	15	15	100.0	15	100.0	15	100.0	
	実績	11	14	127.3	22	157.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

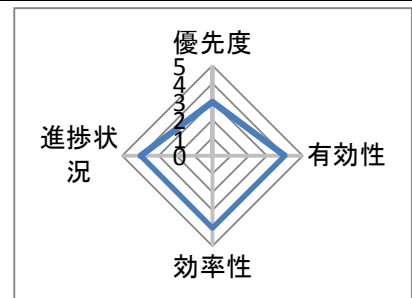
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業の活性化を図るため利子補給をすることで漁業者の経営の安定化が図れた。	4
	組織運営・適正管理	兵庫県信漁連と連携し漁業者の経営を安定することができた。	
効率性	コストの節減	漁業者の安定経営を図るため必要でありコストの削減はできなかった。	4
	執行体制の効率性	漁業者の経営を安定するため相生漁協及び兵庫県信漁連と連携を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	漁業者の設備投資に対する負担軽減として、利子補給することは漁業経営の安定を図るためには必要なことである。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	漁業者の経営を安定させるため更なる連携を相生漁協及び兵庫県信漁連と図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020500		事業の種類	3		
年度	27	事務事業名	水産物市場管理事業		予算事業名	水産物市場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	宇野 智子	
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		水産物市場整備事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾臨海部及び相生地区の活性化を図り、相生力キの振興及び近海の漁業の活性化を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		水産物市場の運営をするに当たって建物の所有者として、建物及び付帯設備の修繕に対応し、指定管理者が円滑に運営できるようにする。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	修繕件数	件	3	7	5	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.084	0.064	76	0.084	131	0.068	81	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	963,038	854,405	89	973,742	114	850,790	87	
	事業費	954,450	2,712,811	284	3,685,297	136	1,355,000	37	
	合計	1,917,488	3,567,216	186	4,659,039	131	2,205,790	47	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	600,000		0		-		-	
	一般財源	1,317,488	3,567,216	271	4,659,039	131	2,205,790	47	
合計	1,917,488	3,567,216	186	4,659,039	131	2,205,790	47		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		修繕件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	5	5	100.0	5	100.0	3	60.0	
	実績	3	7	233.3	5	71.4			
指標名2		集客数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50000	53000	106.0	88000	166.0	88000	100.0	
	実績	52297	88250	168.7	88503	100.3			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用客は増加した。	2
	組織運営・適正管理	水産物市場としての機能及び漁業者への貢献度は低かった。	
効率性	コストの節減	委託料の支払いはなかった。	4
	執行体制の効率性	指定管理者制度を活用し、民間の経営ノウハウによる効率的な運営を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水産物市場としての役割が不十分であった。	2

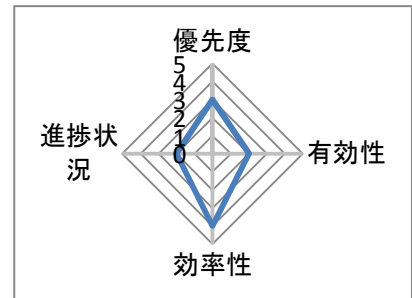
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の維持修繕費が増加しているため、計画的な執行によるコスト節減が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の費用負担の在り方について指定管理者と協議する。



配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040201020600		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	漁業緊急保証対策資金事業	予算事業名	漁業緊急保証対策資金事業	優先度	—
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	宇野 智子
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	主要事業の指定		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁獲金額(販売金額)が大きく減少し、資金繰りに窮している漁業者に対する融資の利子補給をすることにより漁業経営の安定化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁獲金額(販売金額)が大きく減少し、資金繰りに窮している漁業者が緊急的に借入した資金に対して、他の資金融資制度との利率の差額分を利子補給として行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	利子補給件数	人	6	5	1	—	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.044	0.024	55	0.028	117	0.028	100	
	臨時職員			—		—		—	
支出内訳	人件費	655,558	544,485	83	554,750	102	536,470	97	
	事業費	60,822	25,842	42	623	2		0	
	合計	716,380	570,327	80	555,373	97	536,470	97	
財源内訳	国庫支出金			—		—		—	
	県支出金			—		—		—	
	市債			—		—		—	
	その他			—		—		—	
	一般財源	716,380	570,327	80	555,373	97	536,470	97	
合計	716,380	570,327	80	555,373	97	536,470	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給利用率							
指標説明(式)		利子補給利用者/漁業者(55名)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	11	11	100.0	10	90.9	—	—	
	実績	11	10	90.9	2	20.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

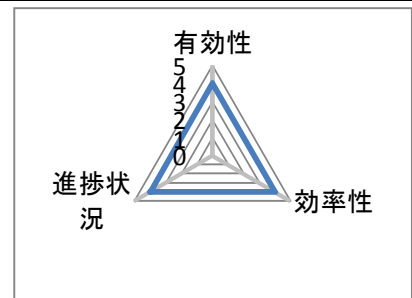
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利子補給することで漁業者の経営安定を図ることができた。	4
	組織運営・適正管理	兵庫県信漁連と連携し漁業者の経営安定を図ることができた。	
効率性	コストの節減	漁業者の経営安定のための手段として有効であるためコストの節減はできなかった。	4
	執行体制の効率性	漁業者の経営安定を図るため相生漁協と兵庫県信漁連と連携を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	漁業者の経営安定を図ることができたが、一時的対応のため事業主が災害保険の加入などの対応が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	25
総合評価	12

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201030100		事業の種類	5		
年度	27	事務事業名	林業振興事業		予算事業名	林業振興事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本 頼高	担当者名	長治 宏幸
取組み事項		林業の振興を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	林業教室受講者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	林業製品の加工技術の取得						

2 事業の概要 Do

実施の概要		林業教室の補助金					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	補助金	団体	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.404	0.424	105	0.364	86	0.076	21	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,422,878	3,643,685	106	3,068,702	84	913,654	30	
	事業費	430,000	483,970	113	458,610	95	561,000	122	
	合計	3,852,878	4,127,655	107	3,527,312	85	1,474,654	42	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,852,878	4,127,655	107	3,527,312	85	1,474,654	42	
合計	3,852,878	4,127,655	107	3,527,312	85	1,474,654	42		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		林業教室の開催割合							
指標説明(式)		年間開催実績回数 ÷ 年間予定回数(60) × 100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

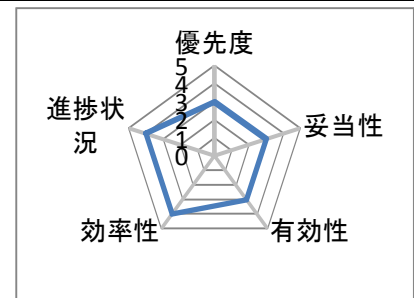
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標以上の達成をしている。	3
	市民サービス	参加者が固定化しつつある。	
効率性	負担割合の適正化	補助対象回数以上の教室開催を行っている。 (補助対象回数 60回 教室開催回数 96回)	4
	手段の最適性	林産物の活用及び地域産業の伝承と、その後継者育成のためには、有効な手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	指導者等が高齢になり、今後、運営に支障をきたす恐れがある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	新たな指導者等の確保を図る。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201040100		事業の種類	2		
年度	27	事務事業名	ふれあい公園管理事業		予算事業名	ふれあい公園管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本 頼高	担当者名	長治 宏幸
取組み事項		交流拠点の活用とネットワーク化を促進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	公園内の清掃及び除草						

2 事業の概要 Do

実施の概要		若狭野ふれあい公園の清掃、除草委託					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	園内清掃除草	件	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.052	0.020	38	0.032	160	0.072	225	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	717,054	513,493	72	584,678	114	882,222	151	
	事業費	7,983,768	655,640	8	634,941	97	691,000	109	
	合計	8,700,822	1,169,133	13	1,219,619	104	1,573,222	129	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	55,789	0	0		-		-	
	一般財源	8,645,033	1,169,133	14	1,219,619	104	1,573,222	129	
合計	8,700,822	1,169,133	13	1,219,619	104	1,573,222	129		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託件数							
指標説明(式)		委託件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	1	1	100.0	1	100.0		0.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公園整備、管理により一層の利活用が図られる。	4
	組織運営・適正管理	地元に委託し、管理することにより地元住民も地元の公園であるという意識が醸成され、公園利用に関しても関心が持てる。	
効率性	コストの節減	地元に清掃等を委託することにより、コスト縮減となっている。	3
	執行体制の効率性	十分効率的に行なわれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

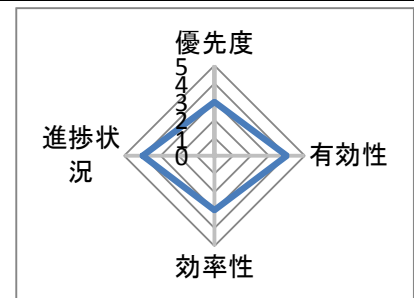
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	関係自治会により管理運営が行われているため、適切に管理されているが、利用者が固定化している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	県民交流ハウスや厨房棟があるため、施設を有効に活用する。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201050100	事業の種類	5
年度	27	事務事業名	6次産業化ネットワーク活動事業	予算事業名	6次産業化ネットワーク活動事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る	担当課長	竹本 頼高	担当者名 伊勢 祥明
取組み事項		地域特産物の充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律(以下「6次産業化・地産地消法」という。)			
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業者及び水産業者			
	誰(何)を対象として	6次産業化の取組			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域資源を活用した新たな付加価値を生み出すことで、収益力を高め、地産地消として地域の活性化や雇用の創出を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化を推進するための計画策定(改定を含む) 6次産業化の取組に対する助成 				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	計画の策定	件			1	0
	補助事業の実施	件			1	0
	合計					

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-	0.080	-	0.020	25	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	943,814	-	473,606	50	
	事業費			-	1,243,000	-		0	
	合計			-	2,186,814	-	473,606	22	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	1,243,000	-		0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	943,814	-	473,606	50	
合計			-	2,186,814	-	473,606	22		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		6次産業化に取り組む事業者数							
指標説明(式)		6次産業化・地産地消法第5条に基づく総合化事業計画の認定を受け、6次産業化に取り組んでいる事業者							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-	2	-	2	100.0	
	実績			-	2	-			
指標名2		6次産業化の取組で生産販売する商品数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
品	目標			-	10	-	11	110.0	
	実績			-	10	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

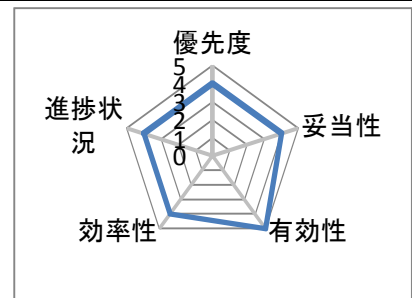
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成27年8月11日に制定した「相生市における6次産業化及び地産地消を推進するための戦略」に基づいて、ゆずみそ(唐辛子入り)が商品化されたほか、メロンシャーベットやあいおいも粉を使った商品開発が進められた。	5
	市民サービス	新たな商品開発と収益向上の取組により、女性や高齢者の労働意欲、生きがいづくりにつながった。	
効率性	手段の最適性	「相生市における6次産業化及び地産地消を推進するための戦略」に基づいて、計画的な事業実施を図った。	4
	コストの節減	国・県の補助事業を活用することで、市の費用負担を減らし、効率的な事業実施に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	<ul style="list-style-type: none"> 経営体の自立と育成。 安定した原材料の確保。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	モンドセレクション銀賞受賞を機にPRを強化し、生産拡大による売上増を図り、法人化等への機運を盛り上げる。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010300		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	商工業対策事業		予算事業名	商工業対策事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	今井 玄
取組み事項	魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	県下の特産商工業者					
	誰(何)を対象として	兵庫県物産協会が行う特産商工業振興事業					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域産業を振興することにより、活力ある豊かな地域経済を形成し、県民の生活向上を実現する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県物産協会の運営に対し、県下市町が負担金を支出することにより運営に共同参画する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	兵庫県物産協会負担金	円	26000	26000	25000	25000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.016	0.040	250	0.104	260	0.040	38	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	440,322	668,453	152	1,123,382	168	630,766	56	
	事業費	30,560	33,340	109	33,640	101	34,000	101	
	合計	470,882	701,793	149	1,157,022	165	664,766	57	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	470,882	701,793	149	1,157,022	165	664,766	57	
合計	470,882	701,793	149	1,157,022	165	664,766	57		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県物産協会販売状況							
指標説明(式)		ひょうごふるさと館内に設置しているイベントコーナー3か所での販売日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
点	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	1104	1089	98.6	1089	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

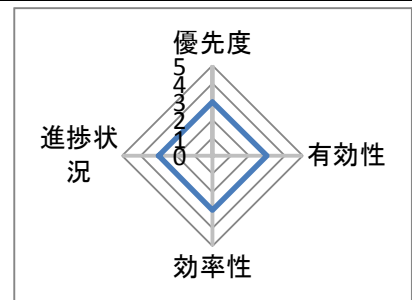
指標名1		製造品出荷額における県内ウエイト							
指標説明(式)		兵庫県物産協会年度会費積算基礎							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	4.0	4.0	100.0	3.5	87.5	3	85.7	
	実績	3.5	2.9	82.9	2.98	102.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市町・各種団体・企業等が協働で行うスケールメリットを活かし、県下はもとより広く全国に兵庫県の物産を宣伝紹介するとともに、販売促進及び販路拡事業に取り組み、特産商工業の振興発展に寄与している。	3
効率性	負担割合の適正化	財政規模に応じた負担となっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各市町、財政規模に応じた負担となっている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	負担金は、財政規模に応じて低く抑えられており、一定の負担は、仕方がない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	協会の活動を理解し、関係性を強めていくことが重要である。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010400	事業の種類	3
年度	27	事務事業名	地場産業振興センター事業	予算事業名	地場産業振興センター事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 市民生活部地域振興課	
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		担当者名	今井 玄
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	西播磨の地場産業関連企業			
	誰(何)を対象として	(公財)姫路・西はりま地場産業センター			
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨の地場産業の健全な育成及び発展に貢献し、活力ある地域経済社会の形成、地域住民の生活向上及び福祉の増大に寄与すること。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨の地場産業者等に対する支援機関である姫路・西はりま地場産業センターの運営に対し、姫路市を中心に関係市町が負担金を支出することにより支援を行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	地場産業振興センター事業負担金	円	282000	281000	281000	281000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012	0.024	200	0.028	117	0.028	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	409,574	544,485	133	554,750	102	536,470	97	
	事業費	282,000	281,000	100	281,000	100	281,000	100	
	合計	691,574	825,485	119	835,750	101	817,470	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	691,574	825,485	119	835,750	101	817,470	98	
合計	691,574	825,485	119	835,750	101	817,470	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特産品販売所播産館の売上							
指標説明(式)		売上高(千円)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	50000	50000	100.0	50000	100.0	50000	100.0	
	実績	53531	53113	99.2	53113	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中・西播磨の特産品をPRしており、それぞれの地域に与える影響や売上額、誘客にもつながっている。また、販売実績等もある程度確保しており、目的は達成している。	3
	期待する目標		
効率性	手段の最適性	平成23年度より分担割合を見直し、コストの削減が図られた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	人口比率による応分負担である。	3

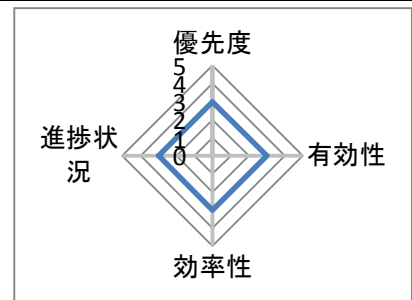
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市内物産品の販売額が大変少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	均等割の比率の見直しを働きかけていく。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010500		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	商業共同施設補助事業		予算事業名		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	今井 玄
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市共同施設補助金交付規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内商店街組織					
	誰(何)を対象として	商店街共同施設					
	意図(どのような状態にしたいのか)	商業の活性化					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の商業者が組織する団体で共同施設(街路灯、カラー舗装、アーケード等)を設置する者に対し、設置に対する費用を補助し、商業振興を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
			0	0			

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012	0.008	67	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	409,574	420,517	103	405,110	96	379,310	94	
	事業費			-		-		-	
	合計	409,574	420,517	103	405,110	96	379,310	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	409,574	420,517	103	405,110	96	379,310	94	
	合計	409,574	420,517	103	405,110	96	379,310	94	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-		-	
	実績	0	0	-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	商店街のハード面の整備に支援を行うことは、商店街の活性化を図るのに有効である。	3
効率性	負担割合の適正化	補助率(補助対象経費の1/3以内、限度額2,000万円)は適正と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	県の随伴事業であり、27年度は申請が無かった。	3

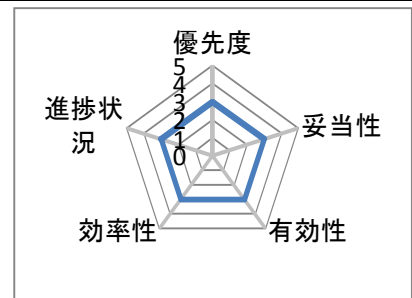
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	商店街は、人の流れにより徐々に形成されてきたもので、人の流れが少なくなった今、現体制を維持することも難しい。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	街路灯としての役目を担っているため、事業を継続していく。



配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010600	事業の種類	5
年度	27	事務事業名	地域振興事業	予算事業名	地域振興事業
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名 今井 玄
取組み事項	魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民及び市内商工業者			
	誰(何)を対象として	市内における商業			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域における消費喚起を促し、商業等の活性化とともに、市民の生活の支援を行うことにより、市民生活の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		商工会議所が行う商品券配布事業に対し、市が補助を行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	元気アップ商品券	円	0	0	51,929,000	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-	0.048	-	0.048	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	704,390	-	693,630	98	
	事業費			-	51,929,000	-		0	
	合計			-	52,633,390	-	693,630	1	
財源内訳	国庫支出金			-	51,477,000	-		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	1,156,390	-	693,630	60	
合計			-	52,633,390	-	693,630	1		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		販売枚数							
指標説明(式)		元気アップ商品券 販売枚数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
枚	目標	0	0	-	240,440	-	0	0.0	
	実績	0	0	-	240440	-			
指標名2		商品券 換金率							
指標説明(式)		(換金枚数) / (販売枚数) × 100 (%)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0	0	-	100	-	0	0.0	
	実績	0	0	-	99.98	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	大規模店舗以外の券を作成することで、大規模店舗以外での利用を促進することができた。	4
	市民サービス	「これまでに欲しかった商品・サービスを購入した」、「いつもより多めに購入した」などの意見があった。	
効率性	負担割合の適正化	配布の時期、使用期限など時期が集中しており、通常の勤務に負担が生じた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	販売は計画通りの100%、換金率も99.98%となっている。	4

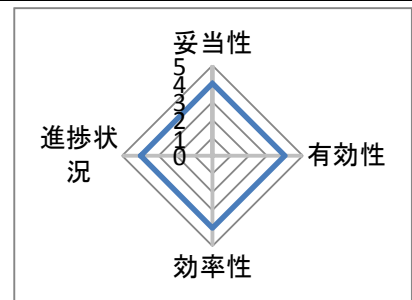
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	公共性	市内の商業を活性化するために、公費を費やすことの必要の有無を検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010700	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	商店街空き店舗等活用事業	予算事業名	商店街空き店舗等活用事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 市民生活部地域振興課	
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		担当者名	今井 玄
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規		相生市商店街空き店舗等活用事業補助金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の事業者			
	誰(何)を対象として	新規に市内商店街の空き店舗で事業をされる事業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	3年間にわたり家賃の補助をすることで、新規に商店街空き店舗で開業していただき、空き店舗の増える商店街の活気を取り戻す。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内の商店街の振興を図るため、当該商店街が形成されている地域で空き店舗を借り上げ、出店する経費に対し予算の範囲内において補助金を交付する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	補助金受領者数(新規)	店	3	1	1	2
	出店維持数	店	14	15	16	18

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.048	0.048	100	0.072	150	0.072	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	686,306	730,437	106	883,958	121	882,222	100	
	事業費	1,167,000	1,079,000	92	1,092,000	101	1,518,000	139	
	合計	1,853,306	1,809,437	98	1,975,958	109	2,400,222	121	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,853,306	1,809,437	98	1,975,958	109	2,400,222	121	
合計	1,853,306	1,809,437	98	1,975,958	109	2,400,222	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規出店数							
指標説明(式)		数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
店	目標	1	2	200.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	3	1	33.3	1	100.0			
指標名2		補助店舗の営業継続率							
指標説明(式)		営業継続店舗数÷補助需給店舗×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	86.6	84	97.0	84	100.0	85.7	102.0	
	実績	82.4	83.3	101.1	84.2	101.1			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

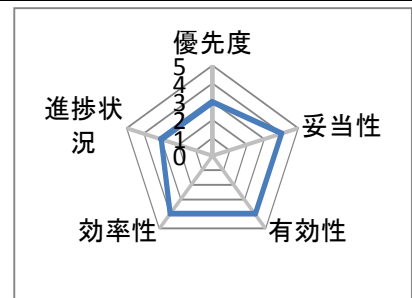
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	多額の資金を要する開業時に家賃を補助することで、開業意欲につなげる事ができた。	4
	市民サービス	商店街の周辺には住宅があり、商店街の活性化は、市民生活に大きく影響する。商店街の存続は、特に車に乗らない高齢者にとってサービスに直結するものがある。	
効率性	コストの節減	今後、補助率及び補助期間の見直しを図る必要がある。	4
	手段の最適性	空店舗対策について抜本的な対策がない中、空店舗を喰い止める手段としては最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	1件の新規利用者があった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	商店街では住宅と併設されている店舗が多いため、使用者が敬遠する傾向がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	空き店舗の解消には、改修費用も検討しなければならない。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010800	事業の種類	5
年度	27	事務事業名	まちな駅推進事業	予算事業名	まちな駅推進事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		担当者名	今井 玄
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域住民や、来訪者が求める地域の情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する空間施設です。また、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を有する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	加盟数	店	20	20	20	20

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.064	0.032	50	0.040	125	0.040	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	809,298	606,469	75	644,534	106	630,766	98	
	事業費	300,000	300,000	100	300,000	100	297,000	99	
	合計	1,109,298	906,469	82	944,534	104	927,766	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,109,298	906,469	82	944,534	104	927,766	98	
合計	1,109,298	906,469	82	944,534	104	927,766	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		まちな駅加盟店数							
指標説明(式)		まちづくりの拠点となるまちな駅加盟店舗数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
店	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	20	20	100.0	20	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

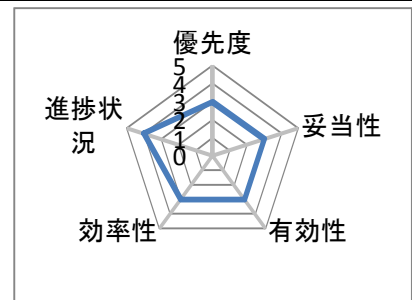
指標名1		小学校区あたりのまちの駅設置率							
指標説明(式)		まちの駅の数/小学校区の数7							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
店	目標	2.85	2.85	100.0	2.85	100.0	2.85	100.0	
	実績	2.85	2.85	100.0	2.85	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	まちの駅を利用し、人との出会いの場となるよう努めた。	3
効率性	手段の最適性	まちの駅間でネットワーク化し、お互いの情報交換をする場、手段を構築するように努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各駅同士のネットワークを構築する「まちの駅ネットワーク相生協議会」を定期的に開催した。(年3回) また、駅長の代表による幹事会を組織した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	会議の日程調整に苦慮する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	多くの駅長に会議に参加していただき、情報交換とPRに努める。スタンプラリーを実施し、まちの駅をPRする。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202020100		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	商工会議所振興事業		予算事業名	商工会議所振興事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	土居 城介
取組み事項	商業者による経営革新的な取り組みを支援する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の商工業者					
	誰(何)を対象として	市内商工業者の経営を円滑に行うために、					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内商工業に円滑な経営の補助活動を行う商工会議所の運営に対し補助を行うことで、市内経済の安定・発展に努める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		商工会議所会費及び特定商工業者負担金の合計額(24,000千円)の10%を目安に算出し、商工会議所に補助をする。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	会員数(個人)	件	351	352	344	370	
	会員数(法人)	件	361	357	347	370	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.024	0.044	183	0.052	118	0.052	100
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	501,818	699,445	139	734,318	105	725,062	99
	事業費	6,385,000	6,385,000	100	6,385,000	100	6,322,000	99
	合計	6,886,818	7,084,445	103	7,119,318	100	7,047,062	99
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	6,886,818	7,084,445	103	7,119,318	100	7,047,062	99
合計	6,886,818	7,084,445	103	7,119,318	100	7,047,062	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数(個人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	370	370	100.0	370	100.0	370	100.0	
	実績	351	352	100.3	344	97.7			
指標名2		会員数(法人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	370	370	100.0	370	100.0	370	100.0	
	実績	361	357	98.9	347	97.2			

【効率性】

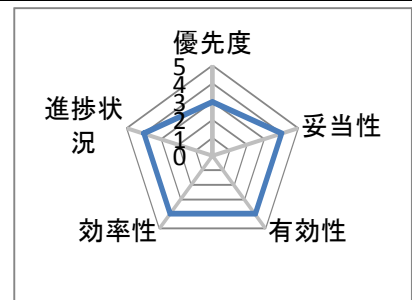
指標名1		会員あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/会員数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	8628	8628	100.0	8628	100.0	8628	100.0	
	実績	8967	9043	100.8	9240	102.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	景気低迷が長期に亘る状況下にあつて、これを克服すべく様々な事業に取り組んでいる。	4
効率性	手段の最適性	市内商工事業の状況及び支援方法に精通する、商工会議所を通じて支援を行うことが最も適していると認める。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況を反映し、会員数は微減を続けているが、商工業者支援の様々な事業に取り組んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	連携中枢都市、地方創生の商工部門を推進するうえで、商工会議所と連携することは必須。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	会議所の経営努力を促し、会員へのサービスを維持・向上しつつ、有効な補助金の運用を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0402020200	事業の種類	5
年度	27	事務事業名	産業活性化緊急支援補助事業	予算事業名	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名 土居 城介
取組み事項	商業者による経営革新的な取り組みを支援する		実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	相生市産業活性化緊急支援事業補助金交付要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民及び市内建築業者			
	誰(何)を対象として	市民の居住環境の向上に対する需要及びそれに対する市内建築業者の受注機会の拡大			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の居住環境の向上に資するとともに、市内の消費活動及び地域産業の活性化を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	市民が市内の施工業者を利用して住宅の修繕又は補修工事を行う場合、その経費の一部を補助する。 【補助金の額】補助対象経費の10%(最高限度額:10万円)					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	リフォーム助成件数	件	254	142	-	-
	工事金額	円	289759774	180134011	-	-

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.032	0.376	1,175		0		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	563,314	3,271,781	581	345,254	11	316,446	92	
	事業費	18,940,000	9,948,000	53		0		-	
	合計	19,503,314	13,219,781	68	345,254	3	316,446	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	19,503,314	13,219,781	68	345,254	3	316,446	92	
	合計	19,503,314	13,219,781	68	345,254	3	316,446	92	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	100	100.0	-	-	-	-	
	実績	254	142	55.9	-	-	-	-	
指標名2		工事金額							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100000000	100000000	100.0	-	-	-	-	
	実績	289759774	180134011	62.2	-	-	-	-	

【効率性】

指標名1		助成金額に占める総工事費の割合							
指標説明(式)		総工事費÷助成金額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
倍	目標	10	10	100.0	-	-	-	-	
	実績	15.3	18.1	118.3	-	-			
指標名2		助成1件当たりのコスト							
指標説明(式)		総事業費(事業費+人件費)÷助成件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	105633	107418	101.7	-	-	-	-	
	実績	76785	93097	121.2	-	-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市事業実施当初より緊急経済対策としての実施は3年期限であるため、平成26年度で廃止。	

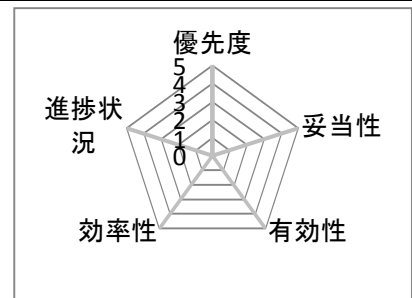
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010100		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	観光協会推進事業		予算事業名	観光協会推進事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	藤岡 周平
取組み事項	観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	観光関係団体への補助を通して、相生市の観光PR活動を促進していく					

2 事業の概要 Do

実施の概要		観光事業を実施する各種団体に負担金及び補助金を支出。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	観光客数	人	714519	717691	664855	720000	
	観光協会会員数	個人・団体	273	260	268	270	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.268	0.292	109	0.304	104	0.220	72	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,377,446	2,620,949	110	2,619,782	100	2,045,206	78	
	事業費	12,399,550	2,950,000	24	2,950,000	100	2,950,000	100	
	合計	14,776,996	5,570,949	38	5,569,782	100	4,995,206	90	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,776,996	5,570,949	38	5,569,782	100	4,995,206	90	
合計	14,776,996	5,570,949	38	5,569,782	100	4,995,206	90		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		観光客数							
指標説明(式)		観光客数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	750000	750000	100.0	750000	100.0	750000	100.0	
	実績	714519	717691	100.4	664855	92.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

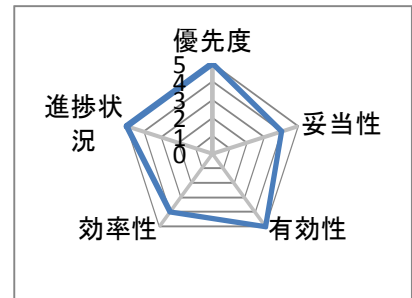
指標名1		相生市観光協会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
部	目標	270	280	103.7	280	100.0	280	100.0	
	実績	273	260	95.2	268	103.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
団体	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	観光協会の発信のSNSがに効果的な情報発信に機能し、閲覧者や、フォロワーが爆発的に増加している	5
効率性	手段の最適性	市外の観光キャンペーンに積極的に参加した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	SNSによる情報発信を積極的に行った。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	観光協会職員が、公用車に乗れないため職員が運転手をしなくてはならず、積極的な店舗の臨店できない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	観光協会で行う事業について、事業委託分の費用を、関連団体から負担してもらう。

配点	32.5
総合評価	30

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010200	事業の種類	5
年度	27	事務事業名	観光費事務経費	予算事業名	観光費事務経費
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	藤岡 周平
根拠法規及び関連法規				主要事業の指定	無
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客・観光協会員			
	誰(何)を対象として	市民・観光客・観光協会員観光協会員			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市観光協会の円滑な運営と、相生市の観光PR活動の促進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市における観光事業の振興を図り、市民文化の高揚、産業発展に寄与する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	観光協会会員数	個人・団体	273	260	268	280

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.216	0.256	119	0.192	75	0.188	98	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,977,722	2,342,021	118	1,781,798	76	1,793,750	101	
	事業費	1,505,490	1,840,160	122	1,550,600	84	1,354,000	87	
	合計	3,483,212	4,182,181	120	3,332,398	80	3,147,750	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,483,212	4,182,181	120	3,332,398	80	3,147,750	94	
合計	3,483,212	4,182,181	120	3,332,398	80	3,147,750	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市観光協会会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	270	280	103.7	280	100.0	280	100.0	
	実績	273	260	95.2	268	103.1			
指標名2		観光協会職員数(臨時)							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

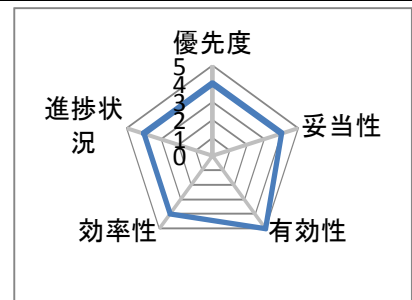
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	SNSを活用して市内飲食店など会員の最新情報を発信している。	5
効率性	手段の最適性	観光協会は会員会費と市の補助金で運営されており、効率的な運営に努めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スマートフォンアプリを導入し、情報発信と誘客に努めている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	観光協会職員の、協会所有車が無いので、会員の臨店などに、困難を生じている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	ホームページの路店事務等を請負つなど、それら委託料をもって、パート職員を雇い、協会の事務処理能力を向上させ、事業をスピーディー且つ、新分野に挑戦する

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010400		事業の種類	3	
年度	27	事務事業名	観光PR推進事業		予算事業名		
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平	
取組み事項	観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		デジタルコンテンツで観光PRを行うことで、より多くの方に情報発信が可能となる。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	ホームページアクセス数	件	81715	90619	90083	100000	
	ブログアクセス数	件	100023	101450	82351	100000	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.084	0.076	90	0.132	174	0.132	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	963,038	947,381	98	1,332,878	141	1,353,702	102	
	事業費			-		-		-	
	合計	963,038	947,381	98	1,332,878	141	1,353,702	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	963,038	947,381	98	1,332,878	141	1,353,702	102	
	合計	963,038	947,381	98	1,332,878	141	1,353,702	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ホームページのアクセス数							
指標説明(式)		市内観光資源・店舗のPRに努めた。アクセス数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	100000	100000	100.0	105000	105.0	105000	100.0	
	実績	81715	90619	110.9	82351	90.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		観光協会ブログアクセス数							
指標説明(式)		ホームページよりタイムリーな情報発信を図る。アクセス数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	100000	105000	105.0	105000	100.0		0.0	
	実績	100023	101450	101.4		0.0			

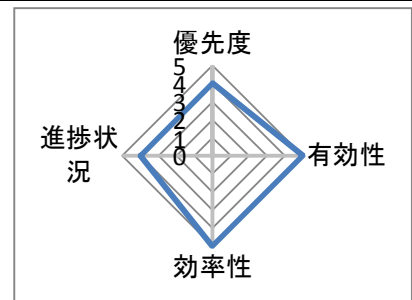
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	観光協会のホームページを活用し、相生市の観光情報を随時更新していくことで、広く観光PRを行う。	5
効率性	執行体制の効率性	ホームページでフォローしきれない即時的な情報をSNSを活用してタイムリーに発信する。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	SNSの活用により、きめ細かい情報発信が可能となっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	ホームページやブログに、利用者の減少があった。スマホ利用者が増え、ツイッターや、フェイスブック、LINEなどSNSでの情報発信が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	現在発信中の、フェイスブックやツイッターの発信のウエイトを増やす。

配点	25
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020100		事業の種類	5		
年度	27	事務事業名	相生ペーロン祭事業		予算事業名	相生ペーロン祭事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平	
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		ペーロン新艇建造事業		ペーロン乗艇場整備				
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出するとともにペーロンを通じた地域の活性化を促進する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		最終日曜日と前日土曜日に、相生ペーロン祭を開催した。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	観光客	人	120000	120000	110000	120000	
	ペーロン競漕参加チーム数	チーム	68	69	69	66	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.816	1.351	166	1.584	117	1.600	101
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	6,589,922	10,826,081	164	12,196,742	113	12,889,246	106
	事業費	14,456,000	28,829,920	199	15,511,680	54	15,147,000	98
	合計	21,045,922	39,656,001	188	27,708,422	70	28,036,246	101
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	21,045,922	39,656,001	188	27,708,422	70	28,036,246	101
合計	21,045,922	39,656,001	188	27,708,422	70	28,036,246	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン祭観客数							
指標説明(式)		ペーロン祭の観客数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	120000	120000	100.0	120000	100.0	120000	100.0	
	実績	120000	120000	100.0	110000	91.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

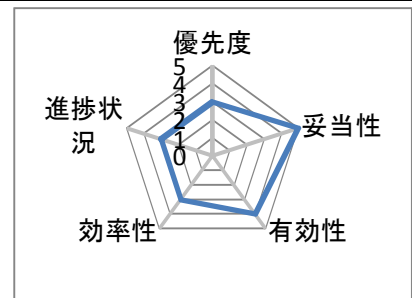
指標名1		ペーロン祭観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/観客数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	280	330	117.9	240	72.7	350	145.8	
	実績	120	330	275.0	367	111.2			
指標名2		ペーロンアドバイザー設置							
指標説明(式)		ペーロンアドバイザー設置経費							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	1826	-	-	-	-	-	-	
	実績	456	-	-	-	-	-	-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン祭を開催することで多くの観光客を相生市に誘致することができた。また、テレビ番組等で取り上げていただき、県外にも相生市のPRをすることができた。	4
効率性	コストの節減	前夜祭有料駐車場の設置や、来場者へのペーロン祭募金、を実施しているが、年々警備費が増加している。	3
	手段の最適性	露店出店者に係る暴力団対策事務の洗練	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きなトラブルもなく、計画通り実施出来た。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	海上の部で、IFIの事業部の分社化により、IFI本体のDNAが薄まり、海上の部への人的、物的協力が縮小されてきており、その影響で事業費が増加している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストの削減は、難しいので、受益者負担ということで、駐車場の料金値上げや、海上の部のブランドを活かして、企業協賛金を募る。

配点	32.5
総合評価	23.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020200		事業の種類	5		
年度	27	事務事業名	羅漢の里もみじまつり事業		予算事業名	羅漢の里もみじまつり事業 優先度		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	藤岡 周平
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		11月第2日曜日に開催。矢野町瓜生の自然を利用したイベント。市民参加型のかがしコンテストやステージイベントや各種バザーなどを実施。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	観客数	人	5500	5800	8500	10000		
	かがし出品数	体	997	1062	1000	1000		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.688	0.500	73	0.596	119	0.596	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	5,605,986	4,232,533	76	4,804,526	114	4,999,814	104	
	事業費	2,000,000	2,000,000	100	2,000,000	100	1,980,000	99	
	合計	7,605,986	6,232,533	82	6,804,526	109	6,979,814	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,605,986	6,232,533	82	6,804,526	109	6,979,814	103	
合計	7,605,986	6,232,533	82	6,804,526	109	6,979,814	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		もみじまつり観客数							
指標説明(式)		もみじまつり当日(土日)の観客							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	11500	10000	87.0	10000	100.0	10000	100.0	
	実績	5500	5800	105.5	8500	146.6	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

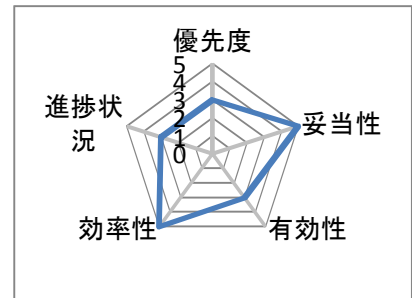
指標名1		もみじまつり観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/観客数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	392	450	114.8	668	148.4	500	74.9	
	実績	1382	1074	77.7	536	49.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	メイン開催日が雨に見舞われたため、メイン開催日の観客数が伸びなかった。	3
効率性	手段の最適性	大物芸能人頼みの集客から参加型ゲームを取り入れるなど、アットホームで趣向を凝らしたステージイベントに転換しコストを削減する。	5
	執行体制の効率性	イベントのコーナーを分散化し、それぞれの担当を各種団体をお願いすることで、市民団体のやる気等、モチベーションの向上につながった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	土曜の開催(バザー等の実施)がのんびりとした雰囲気イベントとして成立している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	屋外イベントのため、雨天用にイベントを組み立てているため、雨天時には、対応が難しいコーナーがある。雨対応をするには、事業費の増額が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	屋外イベントのため、雨天で開催が難しいコーナーは、中止し、来場者に迷惑がかからないようにする。

配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020300		事業の種類	5		
年度	27	事務事業名	相生かきまつり補助事業		予算事業名	相生かきまつり事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		交流の活性化を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の特産である牡蠣を全国にPRしていくため、焼き牡蠣コーナーや各種バザー、ステージイベントを実施。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	観客数	人	14000	20000	—	20000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.668	0.404	60	0.336	83	0.356	106	
	臨時職員			—		—		—	
支出内訳	人件費	5,452,246	3,488,725	64	2,859,206	82	3,113,894	109	
	事業費	700,000	700,000	100	400,000	57	693,000	173	
	合計	6,152,246	4,188,725	68	3,259,206	78	3,806,894	117	
財源内訳	国庫支出金			—		—		—	
	県支出金			—		—		—	
	市債			—		—		—	
	その他			—		—		—	
	一般財源	6,152,246	4,188,725	68	3,259,206	78	3,806,894	117	
合計	6,152,246	4,188,725	68	3,259,206	78	3,806,894	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		かきまつり観客数							
指標説明(式)		かきまつり当日の観客数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	18000	15000	83.3	15000	100.0	20000	133.3	
	実績	14000	20000	142.9	—	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

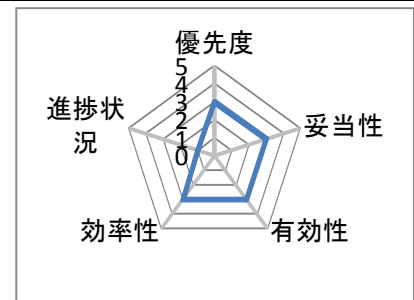
指標名1		かきまつり来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/来場者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	122	133	109.0	100	75.2	100	100.0	
	実績	129	89	69.0	-	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生牡蠣をPRする目的で実施するイベントとしては十分に役割を果たしている。	3
効率性	執行体制の効率性	ブランドイメージを向上させる目的があるため、生産者主体で行うイベントに方向転換を図る必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	かきの生産量減少により、かきまつりを中止した。	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生牡蠣のブランド化向上に努めないと、他地方産の牡蠣の知名度に埋没している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	生産者が当事者意識を取り戻せるような、事業の組み立てとする。

配点	32.5
総合評価	17.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020400	事業の種類	5
年度	27	事務事業名	相生ペーロン振興事業	予算事業名	相生ペーロン振興事業 優先度 4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		交流の活性化を推進する		担当者名	藤岡 周平
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン文化の普及啓発と後継者育成のため市内小学生対象に体験乗船会を実施				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	体験乗船参加者数	人	2341	2263	2177	2500

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.100	0.208	208	0.232	112	0.252	109	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,086,030	1,970,117	181	2,081,078	106	2,296,662	110	
	事業費	600,000	600,000	100	600,000	100	550,000	92	
	合計	1,686,030	2,570,117	152	2,681,078	104	2,846,662	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,686,030	2,570,117	152	2,681,078	104	2,846,662	106	
合計	1,686,030	2,570,117	152	2,681,078	104	2,846,662	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		体験乗船参加者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2000	2000	100.0	2000	100.0	25000	1250.0	
	実績	2341	2263	96.7	2177	96.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

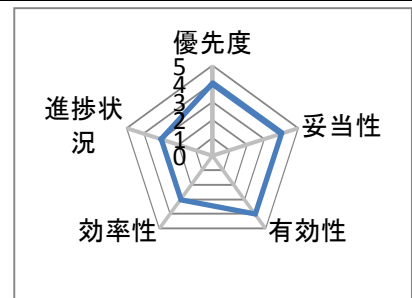
指標名1		体験乗船実施回数							
指標説明(式)		体験乗船実施回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	19	15	78.9	17	113.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申込のあった体験乗船を全て安全に実施することができた。	4
効率性	手段の最適性	体験乗船に係る費用等は、艇使用料・指導料(スタッフ)・警備艇の経費であり、コストは適正と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	体験乗船のニーズが高まっているが、執行体制が固定化し、事業拡張できない状況である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	体験乗船にかかわる、協会スタッフの固定化、高齢化があり、市職員の担う部分が増えている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	協会内に事業部を立ち上げ、ペーロン祭の担う、加盟チームの枠を超えた人材の掘り起しを行い、組織の強化を行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020500		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	相生名物創出事業		予算事業名		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地産地消を原点に相生の特産品(牡蠣、大根大ちゃん、ゆず、若狭野味噌、イチジク等)を活かした相生名物の料理を創出・研究し、観光客の誘致をはかり、まちを活性化することを目的と					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生の新たな名物料理を創造・研究してくれるメンバーを市民より募集し、商品化につなげる。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	会員数	人	12	12	—	—	
	活動回数	回	16	16	—	—	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.280	0.248	89		0		—	
	臨時職員			—		—		—	
支出内訳	人件費	2,469,690	2,280,037	92	345,254	15	316,446	92	
	事業費	300,000	300,000	100		0		—	
	合計	2,769,690	2,580,037	93	345,254	13	316,446	92	
財源内訳	国庫支出金			—		—		—	
	県支出金			—		—		—	
	市債			—		—		—	
	その他			—		—		—	
	一般財源	2,769,690	2,580,037	93	345,254	13	316,446	92	
合計	2,769,690	2,580,037	93	345,254	13	316,446	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	12	12	100.0		0.0		—	
	実績	12	12	100.0		0.0		—	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

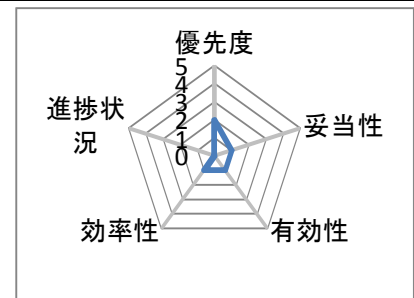
指標名1		相生うまいもん見つけ隊活動回数							
指標説明(式)		相生うまいもん見つけ隊活動回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	12	12	100.0	-	-	-	-	
	実績	16	16	100.0	-	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生の特産品を使用した「お焼き」を考案し、市内イベントで発表した。	1
効率性	手段の最適性	行政の枠にとらわれない、市民の自由な発想を求めている。	1
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	月1回の定例会を開き、年度方針を定めて活動を行っている。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	7.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020700		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	ペーロン海館管理事業		予算事業名	ペーロン海館管理事業 優先度 ー	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン海館として、ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン体験乗船を中心とするペーロン振興の拠点とすること。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン競漕で使用するペーロン船を格納するとともに展示し、観光客の見学を実施するとともに、ペーロン体験乗船の拠点としている。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	開館日	日	365	365	365	365	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.016	0.048	300	0.016	33	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	440,322	730,437	166	464,966	64	442,174	95	
	事業費	2,400,000	2,400,000	100	2,400,000	100	2,400,000	100	
	合計	2,840,322	3,130,437	110	2,864,966	92	2,842,174	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,840,322	3,130,437	110	2,864,966	92	2,842,174	99	
合計	2,840,322	3,130,437	110	2,864,966	92	2,842,174	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン海館の開館日数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日	目標	365	365	100.0	365	100.0	365	100.0	
	実績	365	365	100.0	365	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

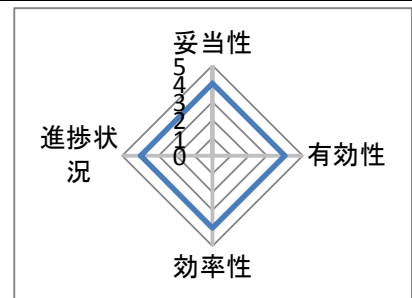
指標名1		管理委託料							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日	目標	2400000	2400000	100.0	2400000	100.0	2400000	100.0	
	実績	2400000	2400000	100.0	2400000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン競漕の練習、体験乗船、観光客の見学などで多くの人々が訪れている。	4
効率性	手段の最適性	指定管理者制度を導入し、効率的な管理に努めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	指定管理者制度を導入し、契約に基づき適正に管理されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	新艇庫移転後の利活用を検討する。

配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020800	事業の種類	2
年度	27	事務事業名	道の駅管理運営事業	予算事業名	道の駅管理運営事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		交流の活性化を推進する		担当者名	藤岡 周平
実施計画事業名		道の駅管理運営		実施計画への記載	無
根拠法規及び関連法規				主要事業の指定	無
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	道の駅で市民・観光客の交流をし、賑わいの場となる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		道の駅白龍城の管理運営を委託。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	道の駅管理委託料	円	3108000	3108000	3196800	3197000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.124	0.072	58	0.028	39	0.028	100
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	1,270,518	916,389	72	554,750	61	536,470	97
	事業費	5,565,105	5,745,478	103	9,199,573	160	6,012,000	65
	合計	6,835,623	6,661,867	97	9,754,323	146	6,548,470	67
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	6,835,623	6,661,867	97	9,754,323	146	6,548,470	67
合計	6,835,623	6,661,867	97	9,754,323	146	6,548,470	67	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道の駅来場者数							
指標説明(式)		道の駅来場者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400000	400000	100.0	400000	100.0	400000	100.0	
	実績	367195	354548	96.6	349102	98.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		道の駅来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		管理経費/来場者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	17	15	88.2	26	173.3		0.0	
	実績	15	19	126.7	9	47.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適性に管理運営を実施できた。	5
	成果の向上	民間資源を活用し、EV充電施設を設置し、道の駅機能向上を行った。	
効率性	コストの節減	委託料は、据え置かれている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	維持管理委託契約に基づき適正に運営されている。	3

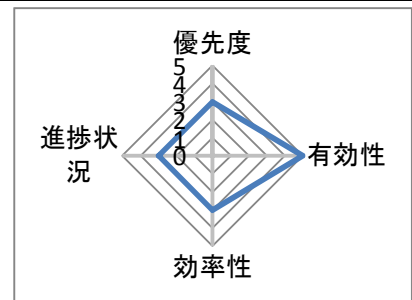
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	委託会社が、複合施設を運営しているが、集客を伸ばしたいという、意気込みが感じられない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	道の駅による観光発信できる仕組みを構築する。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020900		事業の種類	6		
年度	27	事務事業名	ペーロン海館建設事業		予算事業名	ペーロン海館建設事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		交流の活性化を推進する			実施計画への記載	有	主要事業の指定	
実施計画事業名		新ペーロン艇庫建設						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン船の利用を促進し・見学する観光客・市民の憩いの場、新たな観光拠点とすること。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生港臨海部活性化基本計画に基づき新ペーロン艇庫を建設し、ペーロンの振興、観光拠点の整備を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.052	0.364	700	0.150	41	0.088	59	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	717,054	3,178,805	443	1,467,554	46	1,007,950	69	
	事業費	9,435,000	42,658,920	452	11,122,920	26	251,877,000	2,264	
	合計	10,152,054	45,837,725	452	12,590,474	27	252,884,950	2,009	
財源内訳	国庫支出金	4,698,750	20,681	0		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債		18,600	-		0		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,453,304	45,798,444	840	12,590,474	27	252,884,950	2,009	
合計	10,152,054	45,837,725	452	12,590,474	27	252,884,950	2,009		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		説明会の回数							
指標説明(式)		地元説明会の開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	2	1	50.0	2	200.0	0	0.0	
	実績	0	1	-	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		設計委託に係るコンサル活用							
指標説明(式)		打合せ回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	5	3	60.0	5	166.7	10	200.0	
	実績	5	1	20.0	8	800.0			

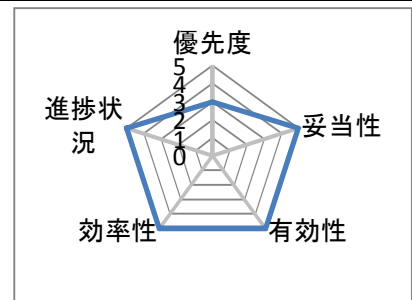
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	施設機能の充実を図り、相生の伝統文化であるペーロンの振興を図る。	5
効率性	手段の最適性	指名入札により、業者選定を行った。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	艇庫の詳細設計を行った。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	ペーロン協会と協議の実施



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	新艇庫の運営体制を検討する。

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203021000		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	第三セクター事業		予算事業名		
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀	
取組み事項	交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	白龍城等の利用者					
	誰(何)を対象として	第三セクター					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健全経営の実現を求め、相生湾の観光・レクリエーションを促進し、にぎわいの場とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		健全経営の実現を求め、観光・レクリエーションを敷く新し、にぎわいの場の拠点とする。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	株式取得		-	-	-	-	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.036	0.016	44	0.012	75	0.016	133	
	臨時職員	0.004	0.000	0	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	603,826	482,501	80	435,038	90	442,174	102	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	603,826	482,501	80	435,038	90	442,174	102	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	603,826	482,501	80	435,038	90	442,174	102	
	合計	603,826	482,501	80	435,038	90	442,174	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン城入場者数							
指標説明(式)		ペーロン城(温泉・飲食・物販)への入場者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400,000	400,000	100.0	400,000	100.0	400,000	100.0	
	実績	350,307	354,548	101.2	349,107	98.5			
指標名2		取締役会等への出席回数							
指標説明(式)		あいおいアクアポリス(株)の取締役として相生市が出席した回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			

【効率性】

指標名1		入場者数等の報告回数							
指標説明(式)		温泉、飲食、物販に対する入場者数、売上額などの報告回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	類似施設との競争があり、前年度と比較すると入場者数は減少している。今後は、競争に勝つために独自の取り組みが必要である。	3
	市民サービス	道の駅ということで、相生市内の交流人口の核となっているだけでなく、通常時においても物販コーナーなど市民のにぎわいの場ともなっている。	
効率性	手段の最適性	相生湾臨海部のにぎわいの場の創出手段としては交流人口集客施設として必要である。	4
	負担割合の適正化	相生市は、株主であるが、損失補償等を行っていないため適正である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	道の駅、海の駅としてにぎわいの拠点としているが、目標の約87%の入場者となっている。	4

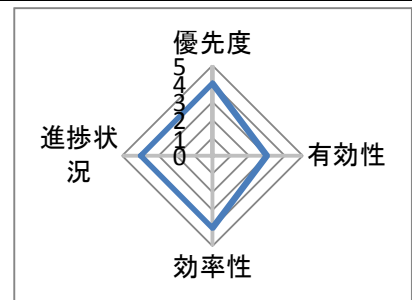
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	ペーロン城にあるペーロン艇庫が平成28年度で移転するため、跡地利用の検討が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市の活性化にもつながるよう、ペーロン城全体の利用促進となる方策を検討し、支援する。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203030100	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	ふるさと交流館管理事業	予算事業名	ふるさと交流館管理事業 優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	竹本 頼高 担当者名
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う		実施計画への記載	有 主要事業の指定
実施計画事業名		ふるさと交流館管理事業			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民及び国民			
	誰(何)を対象として	地域住民及び国民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然環境、歴史学習、農林業体験等を通じて、市民の自主的な学習活動と多様な交流の促進及び教養、文化の高揚並びに地域の農業振興を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ふるさと交流館において、田植え体験や芋掘り体験などの色々な活動を行うことと、都市と農村の交流を図ることにより、地域の活性化を図る。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	交流館利用者数	人	6604	6452	5847	10000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.100	0.092	92	0.100	109	0.104	104	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,086,030	1,071,349	99	1,093,454	102	1,133,678	104	
	事業費	9,283,870	10,409,672	112	8,156,125	78	8,368,000	103	
	合計	10,369,900	11,481,021	111	9,249,579	81	9,501,678	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	10,369,900	11,481,021	111	9,249,579	81	9,501,678	103	
合計	10,369,900	11,481,021	111	9,249,579	81	9,501,678	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	11000	11000	100.0	11000	100.0	10000	90.9	
	実績	6604	6452	97.7	5847	90.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

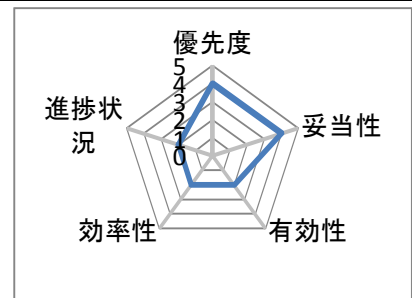
指標名1		来場者一人あたりの経費							
指標説明(式)		管理経費/会館利用者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	900	900	100.0	900	100.0	900	100.0	
	実績	1105	1531	138.6	1831	119.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	毎月色々なイベントを行っているが、マンネリ化し利用者減となっており、今後利用者増に向け事業展開をする必要があった。	2
	市民サービス	地元野菜を利用した夕食は好評であるが、時間的な制約があり、十分なサービス提供が出来なかった。	
効率性	コストの節減	利用率を上げコスト削減を行う必要があった。	2
	執行体制の効率性	指定管理者制度の活用により、民間のノウハウを活用した集客やサービス提供を図ったが、十分な成果が得られなかった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	見直しが必要。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	利用率を上げるため、更なるPRやサービスの向上が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	新たに指定管理者を選定し、PRの強化とサービスの向上を図る。

配点	32.5
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203030200	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	羅漢の里管理事業	予算事業名	羅漢の里管理事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		観光の振興を図る	担当課長	竹本 頼高	担当者名 長治 宏幸
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う	実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名		羅漢の里整備事業			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	羅漢の里の施設			
	意図(どのような状態にしたいのか)	羅漢の里を整備、管理し、憩いと安らぎの場の提供とともに、観光の振興に寄与する施設とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		羅漢の里の施設管理及び委託業務				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	利用者数(市民)	人	4203	4625	4061	5000
	利用者数(市外)	人	17245	15583	18597	17000
	整備箇所	箇所	6	4	3	
	整備事業費	円	3241350	5779400	5032800	5500000

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.420	0.412	98	0.332	81	0.256	77	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,545,870	3,550,709	100	2,829,278	80	2,328,094	82	
	事業費	4,898,020	8,077,948	165	7,244,208	90	5,418,000	75	
	合計	8,443,890	11,628,657	138	10,073,486	87	7,746,094	77	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,443,890	11,628,657	138	10,073,486	87	7,746,094	77	
	合計	8,443,890	11,628,657	138	10,073,486	87	7,746,094	77	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数							
指標説明(式)		コテージ、テント村利用者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	22000	22000	100.0	22000	100.0	22000	100.0	
	実績	21448	20208	94.2	22658	112.1			
指標名2		稼働率(コテージ)							
指標説明(式)		年間利用件数÷365日×10棟							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	22	22	100.0	22	100.0	22	100.0	
	実績	25.2	24.8	98.4	27.3	110.1			

【効率性】

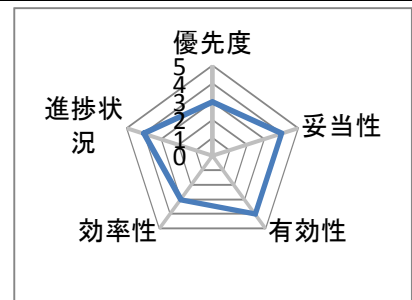
指標名1		利用者1人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費 ÷ 利用者							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	439	545	124.1	496	91.0	352	71.0	
	実績	394	575	145.9	445	77.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	指定管理者による自主事業が実施されることにより、更なる市民サービスの向上へと繋がっている。 また、コテージ等老朽化に伴う修繕について、適宜迅速に対応出来た。	4
	成果目標(改善)達成度	利用者数は、天候等に恵まれ、2,450人の増となっている	
効率性	コストの節減	平成26年度より、管理コスト等を考慮し引き続き指定管理者を更新しており、コストの節減は図られている。	3
	手段の最適性	指定管理者制度によるサービス低下もなく、効率的な管理運営がされているため、引き続き指定管理者制度による運営を行う。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	コテージ等の老朽化が進んでおり、順次改修を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	改修に関して、施工方法等を検討し、改修順位付けを行い、順次改修を行う。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	040204010100		事業の種類	5			
年度	27	事務事業名	匠の技(造船技術)継承事業	予算事業名	匠の技(造船技術)継承事業	優先度	3
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	地域に根ざした工業の強化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	土居 城介	
取組み事項	地域ものづくり基盤の強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	造船関連企業従業員					
	誰(何)を対象として	造船関連企業従業員が必要とする高度な技術の習得					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の基幹産業である造船業を支えてきた団塊の世代が培ってきた貴重な経験や高い技術が、退職を機に失われることのないよう、新たな世代に継承する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生技能研修センターが実施する造船技術継承を目的とした専門技能研修への補助					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	研修受講者数(延べ)	人	245	225	277	297
	受講企業数(延べ)	社	62	55	78	80

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012	0.028	233	0.016	57	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	409,574	575,477	141	464,966	81	442,174	95	
	事業費	200,000	200,000	100	200,000	100	200,000	100	
	合計	609,574	775,477	127	664,966	86	642,174	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	609,574	775,477	127	664,966	86	642,174	97	
合計	609,574	775,477	127	664,966	86	642,174	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	相生技能研修センター研修受講者数								
指標説明(式)	研修受講者数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	298	296	99.3	297	100.3	297	100.0	
	実績	245	225	91.8	277	123.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

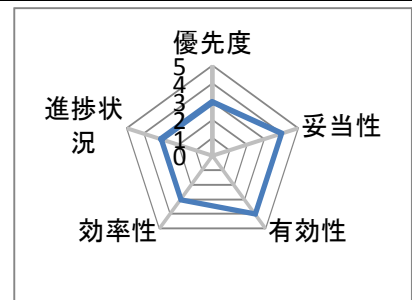
指標名1		受講者一人当たりに補助金							
指標説明(式)		総事業費÷総受講者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	671	675	100.6	673	99.7	673	100.0	
	実績	816	889	108.9	722	81.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	造船技能の継承は、相生の基幹産業を担うためには不可欠である。	4
効率性	負担割合の適正化	事業経費に占める県・市補助金の割合は、県8.4%、市2.6%である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	会員企業のほか、会員以外の関連企業からも受講者を募り、技能の継承に積極的に取り組んでいる。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	受講生は増加したが、計画人数には達していない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	基幹産業の技術の継承を継続して行っていく。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	040204020100	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	中小企業小額資金融資事業
予算事業名	中小企業小額資金融資事業	優先度	3
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)	地域に根ざした工業の強化を図る	担当課長	松本 秀文
取組み事項	中小企業の経営改善強化に向けた支援をする	担当者名	土居 城介
実施計画事業名		実施計画への記載	無
		主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	相生市中小企業小額資金融資要綱 相生市中小企業小額資金融資保証料補助金交付要綱		
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の中小企業者	
	誰(何)を対象として	市内に事業所又は営業所を有する中小企業者のうち市税を完納し、原則として同一事業を1年以上引続き営んでいる者で、相生市中小企業小額資金融資を受けた事業者	
	意図(どのような状態にしたいのか)	信用保証手数料を補給することにより借手中小企業者の借入負担を軽減し、当該融資を活発化し、売上減少による影響及び倒産の防止を図る。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	①市制度融資事務 保証契約事務(信用保証協会)、金融機関との覚書の締結(指定金融機関)、融資申込み受付、融資依頼 ②利子補給事務 保証期間5年以内、保証金額1,000万円を限度に算出した保証協会の保証料を15万円(5年間で1回の申請のみ)を限度として、補助					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	融資総額	千円	38850	94300	70400	100000
	保証料補助額	円	481637	707182	987816	1000000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.184	0.100	54	0.040	40	0.045	113	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,731,738	1,133,333	65	644,534	57	670,056	104	
	事業費	481,637	1,224,282	254	987,816	81	1,000,000	101	
	合計	2,213,375	2,357,615	107	1,632,350	69	1,670,056	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,213,375	2,357,615	107	1,632,350	69	1,670,056	102	
合計	2,213,375	2,357,615	107	1,632,350	69	1,670,056	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	市制度融資件数								
指標説明(式)	件数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	8	17	212.5	14	82.4			
指標名2	保証料補助件数								
指標説明(式)	件数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	7	35.0	20	285.7	
	実績	6	7	116.7	12	171.4			

【効率性】

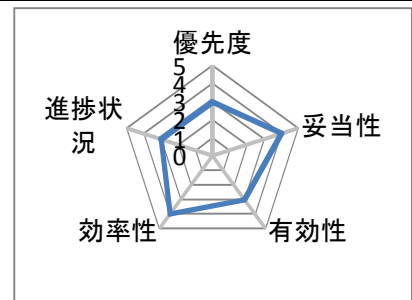
指標名1		1件当たりの保証料補助額							
指標説明(式)		保証料補助額/保証件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	75000	125000	166.7	135710	108.6	125000	92.1	
	実績	80272	101026	125.9	82318	81.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	概ね計画通りに件数、補助額ともに実施できた。	3
	市民サービス	市内の経済活性化は市行政に直結し、市民生活の向上に繋がる。	
効率性	手段の最適性	市内金融機関で融資利率を統一している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	昨年に比べ、融資額が減少している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	融資利用者数が減少し、融資実行額も減少した。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	市内金融機関と協力・連携し、制度の周知に努める必要がある。

配点	32.5
総合評価	22